

研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関しますご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

外来医療用麻薬処方の実態調査：横断研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月～2015年12月に外来でがん性疼痛の緩和目的で医療用麻薬が処方された方

2. 研究目的・方法

病院-調剤薬局間では、処方せんとお薬手帳での、情報共有が主であり、十分な患者情報の共有されていないため、医師、看護師、病院薬剤師、調剤薬局薬剤師は外来患者のペインコントロールや副作用等を把握することが難しい状況があります。そのため、昭和大学横浜市北部病院でも外来で医療用麻薬鎮痛剤の処方を受けている患者への介入を検討する必要があります。本研究では、昭和大学横浜市北部病院の電子カルテシステムのデータによる後方的調査を行い、医療用麻薬鎮痛剤の処方を受けている人数、処方日数、薬剤の用量変更及び処方変更、副作用対策の現状を調査し問題点を検討します。

研究期間

2016年9月～2018年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・医療用麻薬を処方された人数と基本情報（性別、年齢、身長、体重）、診療科、保険病名、処方件数、処方日数、臨床検査データ（Cr, e-GFR, Alb, AST, ALT）、重症度、処方薬剤、処方用量
- ・外来で医療用麻薬の初回導入をした人数
- ・外来で医療用麻薬の処方変更（スイッチング）を行った人数とその理由
- ・外来で医療用麻薬の屯用薬（レスキュー）のみ取りに来た人数とその理由
- ・吐き気止め、緩下剤が併用されている人数、と処方された薬剤

4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の保護のため、取得した診療情報は個人情報管理責任者が匿名化情報（個人情報を含む）にします。すなわち、診療情報から個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し、独自の記号を付すとともに対応表を作成します。これによりどの研究対象者の試料・情報でありますか直ちに判別できないよう加工します。得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。また、得られた成果は、個人情報保護に配慮したうえで学会や論文に発表されます。

5. 研究組織

昭和大学病院	病院薬剤学講座	教授	佐々木 忠徳
昭和大学横浜市北部病院	病院薬剤学講座	教授（員外）	峯村 純子
昭和大学横浜市北部病院	病院薬剤学講座	講師	縄田 修一
昭和大学横浜市北部病院	北部病院薬局	薬剤師	権守 めぐみ
昭和大学横浜市北部病院	病院薬剤学講座	助教	川島 歩
昭和大学横浜市北部病院	病院薬剤学講座	助教	稲垣 彩美
昭和大学横浜市北部病院	病院薬剤学講座	助教	清水 愛美
昭和大学横浜市北部病院	病院薬剤学講座	助教	鷺尾 彩菜

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否します場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院（薬学部 病院薬剤学講座）

氏名：日向 美羽（研究責任者及び代表者）

住所：〒224-0032 神奈川県横浜市 都筑区茅ヶ崎中央35-1

電話番号：045-949-7000